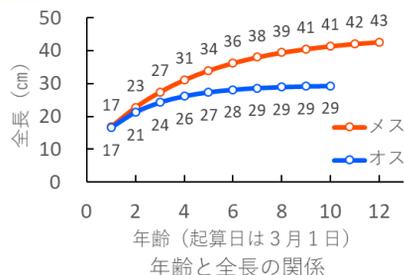
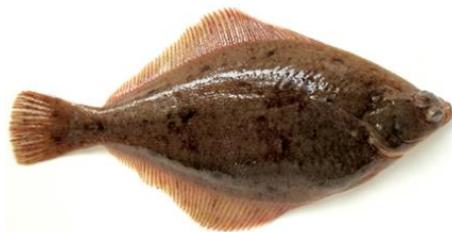


# マガレイ（地方名：あかじがれい、あかじまこ）

## 1 生態

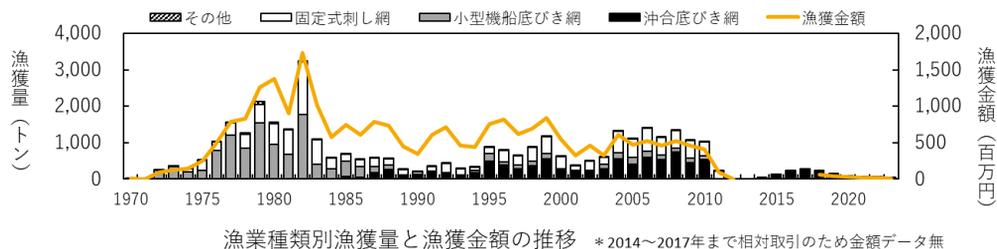
- ・瀬戸内海以北の太平洋岸から日本海全沿岸の水深150m以浅に分布します。福島県沖では主に水深50～100mに分布します。季節的な移動がみられ、1～3月に水深40～60mの海域で多く漁獲されます。
- ・成熟年齢は、オス、メスとも満2歳で90%前後、満3歳ですべて成熟します。産卵期は3～5月です。
- ・主に多毛類や甲殻類を食べます。

\* 仙台湾におけるマガレイの資源量推定（岡村ほか2020）により右図を作成



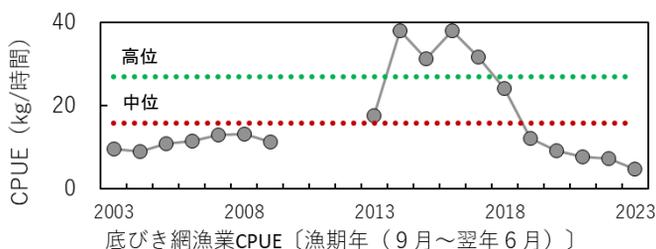
## 2 漁業に関する情報

- ・沖合底びき網及び小型機船底びき網や刺し網等で周年漁獲されています。
- ・2023年（令和5年）の漁獲量は23トン、金額は13百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛や国による出荷制限で水揚げはありませんでしたが、2014年（平成26年）9月から再開されています。



## 3 資源の状態

- ・底びき網漁業のCPUE（曳網1時間あたりの漁獲量）は震災後に増加しましたが、2016年から減少に転じ、2019年以降は震災前を下回る水準で推移しています。
- ・直近5カ年の底びき網漁業のCPUEから、2023年漁期の資源水準は低位で資源動向は減少と考えられます。



## 4 資源管理の取組み

- ・相双地区では2007年（平成19年）から全長16cm未満の水揚げ、販売を禁止し、12月から翌年2月まで刺し網の目合を3寸4分に制限しています。